

## 武蔵野市小中一貫教育あり方懇談会の議論について

## 1 武蔵野市小中一貫教育あり方懇談会

第六期長期計画策定の中での全市的な議論において、本市における小中一貫教育の実施の是非について結論を得るため、必要な論点整理及び方向付けをおこない、全市的な視点に立った考え方の素案を市長に報告する。

※教育委員会での検討過程（平成27～30年度）→別紙1参照

※委員名簿 ◎会長 ○副会長

氏名	所属
◎夏目 重美	第五期長期計画調整計画策定委員会委員長 元亜細亜大学経営学部教授
○渡邊 大輔	第六期長期計画策定委員会委員副委員長 成蹊大学文学部現代社会学科准教授
奈須 正裕	武蔵野市小中一貫教育検討委員会委員長 上智大学総合人間科学部教育学科教授
深田 榮一	武蔵野市コミュニティ研究連絡会会長
矢島 和美	武蔵野市民生児童委員協議会会長
笹井 肇	副市長
恩田 秀樹	副市長
竹内 道則	教育長

## 2 議論の状況 →別紙2 第2回懇談会資料（平成30年10月29日）

第1回（9月26日）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの検討に対する議論</li> <li>・議論の枠組み</li> </ul>
第2回（10月29日）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討モデルの前提条件 「現行の小学校区を基本とする」 「全学区に設置」</li> </ul>
第3回（11月11日）	
第4回（11月27日）	